

重層的支援体制整備事業について

1 地域の現状と課題

- (1) 高齢者虐待通報件数の増加 27 件（2009 年）→192 件（2020 年）10 年間で 7 倍に虐待の発生要因の 4 割が複合的な課題（経済的・孤立・障害等）

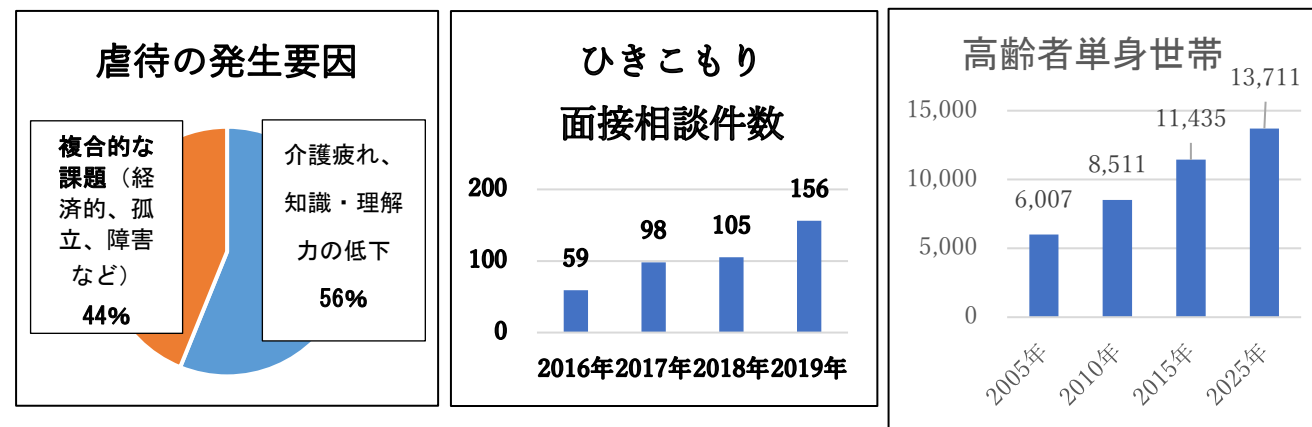
複合的な生活課題

- (2) ひきこもり面接相談件数の増加（3 年間で 2.6 倍に）
孤立死の急増 34 件（2020 年）→ 94 件見込み（2021 年）前年比 2.8 倍

深刻化する社会的孤立

- (3) 単身高齢者の増加（20 年で 2.3 倍）、
町内会の加入率の低下 76.0%（2000 年）→ 58.5%（2020 年）

家族やコミュニティの希薄化



※ひきこもり面接相談は春日井保健所（春日井市、小牧市）

2 これまでの取組

(1) 相談支援体制

- 平成 18 年 地域包括支援センター運営事業の開始
平成 19 年 相談支援事業（障がい者生活支援センター）の開始
平成 27 年 自立支援相談コーナーの設置
子育て世代包括支援センターの設置
平成 28 年 生活支援コーディネーターの配置

(2) 地域支援研究会

- ・令和 2 年 11 月に設置（8 機関 7 課） 10 回開催
- ・研究会で研修プログラムを開発
- ・専門職合同研修会（2 日間）を実施
- ・重層的支援体制整備に向けた人材育成のあり方検討

3 相談支援機関へのヒアリング調査（複合的な課題・狭間問題の支援事例）

地域包括支援センター（13 事業所, 103 事例）及び障がい者生活支援センター（5 事業所, 20 事例）に対して量的・質的な調査を実施（令和 3 年 10 月）。

過去 1 年間の支援事例（複数回答あり）

課題 / 分野	地域包括支援センター	障がい者生活支援センター
虐待・DV 等	54 件	9 件
精神疾患	45 件	7 件
認知症	41 件	1 件
8050 問題	29 件	3 件
引きこもり	22 件	3 件
経済的困窮	20 件	10 件
ごみ屋敷	16 件	5 件
多重債務	5 件	4 件
その他	75 件	20 件
合計	307 件	62 件

【課題】

- (1) 複合的な生活課題
- (2) 深刻化する社会的孤立
- (3) 家族やコミュニティの希薄化

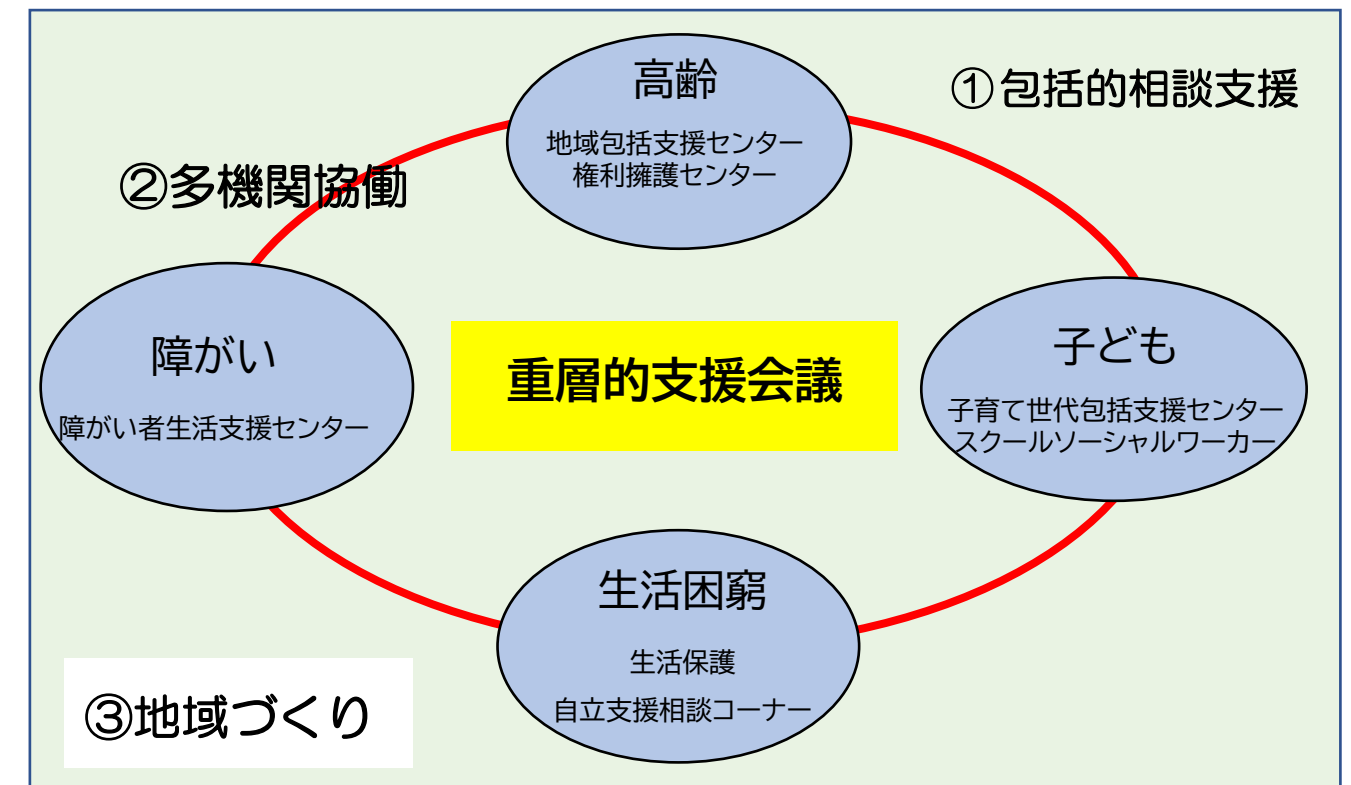
【解決策】

- (1) 包括的な相談支援体制の構築
（包括的相談支援、多機関協働）
- (2) 社会とのつながりの再構築
（参加支援、アウトリーチによる継続的支援）
- (3) 住民主体の地域課題解決体制の構築
（地域づくりの支援）

【連携する際の課題】

情報共有や役割分担、個人情報取扱等。

4 重層的支援体制整備事業の全体図 ～世代や属性を問わない包括的な支援体制～



重層的支援会議
（随時開催）

複合的な課題のある世帯の情報共有やケース検討、
関係機関との役割分担・連携